

■ 2023年度 事業計画 ほっと・ホット（共同生活援助）

はじめに	引き続きコロナ禍の影響は大きく、日常にあった今までどおりの生活にはならないことを受け入れ、頑張って我慢し、現状の生活に慣れてきてくれています。昨年は利用者、職員共にコロナに感染はしましたが、幸いにも大きな病気、事故などなく1年を過ごす事ができました。
事業所の基本方針	穏やかに自分らしく安心して暮らせる生活を送れるようにします。
事業所運営	状況を把握しつつ、家（ホーム）はいつもと変わらない暮らしを提供できるように心掛けます。
利用者支援	自分らしく、本人らしい生活が送れるように支援していきます。またそれぞれ通院の機会も増えてきており、今後もその需要は高まっていくものと考えています。今ご家族が対応をしている通院も徐々に職員へと移行をしていきたいと思えます。
今年度重点目標	メンバーやご家族、高齢化によりグループホームへのニーズも高まっており、365日の開所に向けての準備、週末帰宅するメンバーの宿泊日を増やすことを進め、同時に支えるスタッフの確保、育成も行っていきます。
活動計画	行事などは引き続き社会状況をみながら計画します。個別に予定を説明しながら対応し、安心して過ごせるように取り組みます。
豊かな生活を送るための取り組み	現状では限られた選択肢ではありますが、ドライブや散歩など気分転換をしつつ、ホームでのんびり過ごすだけの時間も設けていき、併せてそれぞれが希望する休日の過ごし方も叶えていければと思っています。
その他防災対策	避難訓練を年3回行います。いざという時の連絡体制などを築き、グループホーム職員だけでなく、法人全体でバックアップしていけるようにしていきます。
利用者の状況	利用者： 6名 男性：4名 女性：2名 43歳～50歳
職員の状況	職員：常勤2名 支援員パート8名 調理員1名 （昨年の計画時パート15名） 長年グループホームを支えてくれているパート職員も徐々に定年を迎え、また定年間近となってきたりしている方もいるため、次の世代のパート、または非常勤職員など、スタッフの育成・確保は急務になってきています。